

高位平準動物看護概論 飼養管理学(畜産) 対面学習確認テスト

問題1: 動物実験を行ううえで守るべき原則(3R)は、Refinement(苦痛の軽減、洗練)、Reduction(削減)ともう一つはどれか。

- ① Replacement(代替え)
- ② Reproduction(繁殖)
- ③ Rehearsal(練習)
- ④ Repeal(撤回)
- ⑤ Reorganization(改造)

問題2: 微生物学的統御に関する記述として正しいのはどれか。

- ① 微生物学的統御とは、動物実験を行うときに哺乳類の代わりに微生物を用いることである。
- ② コンベンショナル動物は、微生物の管理がされていない動物である。
- ③ 無菌動物は、検出できる最近は存在しないが、寄生虫をもっている可能性がある。
- ④ ノバイオートは、検出できる微生物が一切存在しない動物である。
- ⑤ SPF動物は、もっている微生物が特定されている動物である。

問題3: 実験動物に用いられる動物の痛みの評価について正しいのはどれか。

- ① 実験動物の目的は、正しい研究結果を得ることなので動物の痛みについては考慮する必要はない。
- ② 痛みを伴うことがわかっている実験を行うときは、動物の苦痛が予想していたい鉤に大きくても仕方ないことである。
- ③ 動物に痛みを伴う動物実験を行うことは法律で禁止されている。
- ④ 痛みの評価は、動物の外見、摂食、飲水量、行動などから総合的に判断する。
- ⑤ ウサギは痛みを感じづらいため、痛みの評価は他の動物ほどこまめに行う必要はない。

問題4: ラットの保定について正しいのはどれか。

- ① 肩のあたりをつかみ、臀部をもう一方の手で支える。
- ② 直接触れずにピンセットなどの道具でつまむ。
- ③ 尻尾の先端をもって持ち上げる。
- ④ 首根っこの皮をつまみ、つりさげようにもつ。
- ⑤ 攻撃性が強いので、保定をする際は麻酔をかける。

問題5: 盲腸が大きく発達している動物として適しているものはどれか。

- ① ウマ
- ② ヤギ
- ③ ニワトリ
- ④ ウシ
- ⑤ ヒツジ

問題6: 家畜伝染病を予防するために日ごろから取り組む飼育管理として適しているのはどれか。

- ① 動物同志の接触がないように、1頭1頭個別のスペースで飼育する。
- ② 動物に過度なストレスを与えないように、飼育管理の際は大きな音を立てないようにする。
- ③ 飼育スペースやその周辺の清掃、消毒と外部から立ち入る人や車の消毒または制限をする。
- ④ 他個体にけがを負わせないように、子豚の歯切りやニワトリのデビークを行う。
- ⑤ 舎外の空気に病原体が含まれていることがあるため、舎内外の空気の入替えを行わないようにする。

問題7: 産業動物の失宜行動に含まれる行動として正しいのはどれか。

- ① ウマが岩塩を舐める。
- ② ブタが泥の中に寝転ぶ。
- ③ ウシがくりかえし舌を伸ばしたり丸めたりする。
- ④ ヒツジが餌を食べていないときに、口を動かす。
- ⑤ ニワトリが毎日のように卵を産む。

問題8: 家畜伝染病予防法で指定されている疾患のうち、ウシ、ヒツジの全てにかかわる伝染病はどれか。

- ① ヨーネ病
- ② 伝達性海綿状脳症
- ③ ニューカッスル病
- ④ 結核病
- ⑤ 口蹄疫

問題9: 産業動物にとってストレスの少ない扱い方について正しい記述はどれか。

- ① できるだけ人との接触を避けて動物を飼養すること。
- ② ホイッスルやドラムなど、大きな音を利用して動物に触れずに移動させること。
- ③ 動物を驚かせないように静かに後ろから近づくこと。
- ④ 動物のパーソナル・スペースを利用して移動させること。
- ⑤ 動物の移動経路に明かりで陰影をつけることで、進むべき方向をわかりやすく示すこと。

問題10: 春先に屋外で、明らかなけがは見られないが地面で動かずにじっとしている野鳥のヒナをみつけたとき、発見者がとるべき行動はどれか。

- ① 保護のために家に連れて帰り、餌と水を与えて様子を見る。
- ② 動物のそばに付き添い、自力で動けるようになるまで見守る。
- ③ 保護の必要性は低いと判断し、その場を立ち去る。
- ④ 人のいるような場所は危険であるため、遠く離れた自然の多い場所へ連れていく。
- ⑤ 保護して獣医師に診てもらう。

問題11: 特定の野生動物の保護のためにそれらの国際取引を規制している法律はどれか。

- ① ラムサール条約
- ② 種の保存法
- ③ 外来生物法
- ④ ワシントン条約
- ⑤ 生物多様性基本法

問題12: 特定外来生物として法律で指定されている動物はどれか。

- ① イリオモテヤマネコ
- ② アライグマ
- ③ オコジョ
- ④ ムササビ
- ⑤ ツキノワグマ

問題13: 鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律により禁止されているのはどれか。

- ① 野生鳥獣や鳥類の卵を捕獲すること。
- ② 野生のシカを狩ること。
- ③ メジロを飼育すること。
- ④ 研究のために許可を受けて野生鳥獣を捕獲すること。
- ⑤ ペットショップでインコを購入すること。

問題14: 産業動物について正しいのはどれか。

- ① 乳用牛は品種改良によって、一定年齢以上になると泌乳するようになり、搾乳ができる。
- ② 採卵鶏は、交尾をさせないと産卵し始めない。
- ③ 人工授精に用いる精液は、液体窒素で保存する。
- ④ 競走馬は優秀成績の牡馬の精子を、牝馬に人工授精する。
- ⑤ 肉用豚の生産には人工授精を用いることはない。

問題15: 牛、馬、豚について正しい組み合わせはどれか。

- a. 馬は反芻胃を持つ。
- b. 牛の上顎には切歯がない。
- c. 豚は偶蹄類で馬は奇蹄類である。
- d. 実験動物やペットとして用いられるミニブタの成長体重は約10キロである。
- e. 口蹄疫は牛の法定伝染病であり、豚には感染しない。

- ① a, b
- ② a, e
- ③ b, c
- ④ c, d
- ⑤ d, e

* 出問参考図書: 動物看護コアテキスト(ファームプレス)、動物看護師統一認定試験対策過去問題集(インターズー)

高位平準動物看護概論 飼養管理学(畜産) 対面学習確認テスト正答

問題1: 動物実験を行ううえで守るべき原則(3R)は、Refinement(苦痛の軽減)、Reduction(削減)ともう一つはどれか。

- ① Replacement(代替)
- ② Reproduction(繁殖)
- ③ Rehearsal(練習)
- ④ Repeal(撤回)
- ⑤ Reorganization(改造)

問題2: 微生物学的統御に関する記述として正しいのはどれか。

- ① 微生物学的統御とは、動物実験を行うときに哺乳類の代わりに微生物を用いることである。
- ② コンベンショナル動物は、微生物の管理がされていない動物である。
- ③ 無菌動物は、検出できる細菌は存在しないが、寄生虫をもっている可能性がある。
- ④ ノトバイオトは、検出できる微生物が一切存在しない動物である。
- ⑤ SPF動物は、もっている微生物が特定されている動物である。

問題3: 実験動物に用いられる動物の痛みの評価について正しいのはどれか。

- ① 実験動物の目的は、正しい研究結果を得ることなので動物の痛みについては考慮する必要はない。
- ② 痛みを伴うことがわかっている実験を行うときは、動物の苦痛が予想していた以上に大きくても仕方ないことである。
- ③ 動物に痛みを伴う動物実験を行うことは法律で禁止されている。
- ④ 痛みの評価は、動物の外見、摂食、飲水量、行動などから総合的に判断する。
- ⑤ ウサギは痛みを感じづらいため、痛みの評価は他の動物ほどこまめに行う必要はない。

問題4: ラットの保定について正しいのはどれか。

- ① 肩のあたりをつかみ、臀部をもう一方の手で支える。
- ② 直接触れずにピンセットなどの道具でつまむ。
- ③ 尻尾の先端をもって持ち上げる。
- ④ 首根っこの皮をつまみ、つりさげるようにもつ。
- ⑤ 攻撃性が強いので、保定をする際は麻酔をかける。

問題5: 盲腸が大きく発達している動物として適しているものはどれか。

- ① ウマ
- ② ヤギ
- ③ ニワトリ
- ④ ウシ
- ⑤ ヒツジ

問題6: 家畜伝染病を予防するために日ごろから取り組む飼育管理として適しているのはどれか。

- ① 動物同志の接触がないように、1頭1頭個別のスペースで飼育する。
- ② 動物に過度なストレスを与えないように、飼育管理の際は大きな音を立てないようにする。
- ③ 飼育スペースやその周辺の清掃、消毒と外部から立ち入る人や車の消毒または制限をする。
- ④ 個体にけがを負わせないように、子豚の歯切りやニワトリのデビークを行う。
- ⑤ 舎外の空気に病原体が含まれていることがあるため、舎内外の空気の入れ替えを行わないようにする。

問題7: 産業動物の失宜行動に含まれる行動として正しいのはどれか。

- ① ウマが岩塩を舐める。
- ② ブタが泥の中に寝転ぶ。
- ③ ウシがぐりかえし舌を伸ばしたり丸めたりする。
- ④ ヒツジが餌を食べていないときに、口を動かす。
- ⑤ ニワトリが毎日のように卵を産む。

問題8: 家畜伝染病予防法で指定されている疾患のうち、ウシ、ヒツジの全てにかかわる伝染病はどれか。

(正答が二つあるため、当問はカウント外とする)

- ① ヨーネ病
- ② 伝達性海綿状脳症
- ③ ニューカッスル病
- ④ 結核病
- ⑤ 口蹄疫

問題9: 産業動物にとってストレスの少ない扱い方について正しい記述はどれか。

- ① できるだけ人との接触を避けて動物を飼養すること。
- ② ホイッスルやドラムなど、大きな音を利用して動物に触れずに移動させること。
- ③ 動物を驚かせないように静かに後ろから近づくこと。
- ④ 動物のパーソナル・スペースを利用して移動させること。
- ⑤ 動物の移動経路に明かりで陰影をつけることで、進むべき方向をわかりやすく示すこと。

問題10: 春先に屋外で、明らかながは見られないが地面で動かずにじっとしている野鳥のヒナをみつけたとき、発見者がとるべき行動はどれか。

- ① 保護のために家に連れて帰り、餌と水を与えて様子を見る。
- ② 動物のそばに付き添い、自力で動けるようになるまで見守る。
- ③ 保護の必要性は低いと判断し、その場を立ち去る。
- ④ 人のいるような場所は危険であるため、遠く離れた自然の多い場所へ連れていく。
- ⑤ 保護して獣医師に診てもらう。

問題11: 特定の野生動物の保護のためにそれらの国際取引を規制している法律はどれか。

- ① ラムサール条約
- ② 種の保存法
- ③ 外来生物法
- ④ ワシントン条約
- ⑤ 生物多様性基本法

問題12: 特定外来生物として法律で指定されている動物はどれか。

- ① イリオモテヤマネコ
- ② アライグマ
- ③ オコジョ
- ④ ムササビ
- ⑤ ツキノワグマ

問題13: 鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律により禁止されているのはどれか。

- ① 野生鳥獣や鳥類の卵を捕獲すること。
- ② 野生のシカを狩ること。
- ③ メジロを飼育すること。
- ④ 研究のために許可を受けて野生鳥獣を捕獲すること。
- ⑤ ペットショップでインコを購入すること。

問題14: 産業動物について正しいのはどれか。

- ① 乳用牛は品種改良によって、一定年齢以上になると泌乳するようになり、搾乳ができる。
- ② 採卵鶏は、交尾をさせないと産卵し始めない。
- ③ 人工授精に用いる精液は、液体窒素で保存する。
- ④ 競走馬は優秀成績の牡馬の精子を、牝馬に人工授精する。
- ⑤ 肉用豚の生産には人工授精を用いることはない。

問題15: 牛、馬、豚について正しい組み合わせはどれか。

- a. 馬は反芻胃を持つ。
- b. 牛の上顎には切歯がない。
- c. 豚は偶蹄類で馬は奇蹄類である。
- d. 実験動物やペットとして用いられるミニブタの成長体重は約10キロである。
- e. 口蹄疫は牛の法定伝染病であり、豚には感染しない。

- ① a, b
- ② a, e
- ③ b, c
- ④ c, d
- ⑤ d, e

* 出問参考図書: 動物看護コアテキスト(ファームプレス)、動物看護師統一認定試験対策過去問題集(インターズー)